

■ 深めて解ける！英文法②（新高1・2・3生）

深めて解ける！英文法②

～時制・助動詞・仮定法～

成川 博康 先生

- 全7分野のシリーズで入試英文法のすべてを網羅！
- 難関大学に現役合格するためには文法分野をいち早く攻略することが絶対不可欠です。7つの分野を体系的に学習することで、大学入試突破の基礎固めは万全なものとなります。この講座では予習の必要はありません。講義と復習がメインとなります。各単元終了時には総復習テスト（Half Test）を実施し、弱点の補強をしてもらいます。また単元ごとに豊富な自習用問題が付録としてついていますので十分に活用してください。

◆年間スケジュール◆

深めて解ける！英文法①品詞・能動態と受動態※・・・【新学年準備講座】

★深めて解ける！英文法②時制・助動詞・仮定法・・・【春期講習】

深めて解ける！英文法③不定詞・動名詞・分詞・・・【1学期通常授業（前半）】

深めて解ける！英文法④動詞(1)(2)・前置詞・・・【1学期通常授業（後半）】

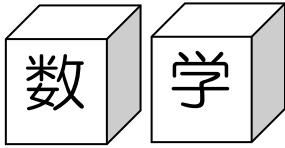
深めて解ける！英文法⑤関係詞・接続詞・・・【夏期講習】

深めて解ける！英文法⑥名詞・代名詞・形容詞・副詞・・・【2学期通常授業（前半）】

深めて解ける！英文法⑦比較・特殊構文・・・【2学期通常授業（後半）】

※深めて解ける！英文法①は、90分×4回（360分）の講座となり、他の講座と実施回数・分数が異なります。

本講座の受講生には、
成川先生オリジナル「深めて解ける！英文法ハンドブック」プレゼント致します。
毎回の講義の中で使用するのを忘れずに持参してください。



基礎数学ⅠAⅡB

下田 雄太 先生

【対象】

数学を根底から鍛えたい、鍛え直したい生徒
学校の数学の成績を着実にあげたい生徒
基本問題は解けるけど応用問題が解けませんと言ってしまう生徒
すべての数式を言葉にして読めるようになりたい生徒
高校の数学を先取り始めたい中3生（新高1）

【内容】

「基礎なくして応用は解けず」

当たり前の言葉ですが、数学において《基礎》をしっかり勉強できている人は少ないです。《基礎》を《基本》と間違えて勉強してしまっている人も多いです。高校数学から《基礎》と呼ばれる部分の重要度がとてつもなく増します。ここの勉強の仕方により数学の成績で明確な差が出ます。さらにセンター試験に変わる「共通テスト」は、この部分の理解度が点数として現れるように作られています。

この春期では最重要単元である数学Ⅰで学ぶ「集合と命題+ α 」を扱います。数学全般における《基礎》となる単元です。この単元が的確に学べてない、さらりと流している人はとても多く、対して数学が好成績の人でここが曖昧な人はほぼいません。

ここを0から講義して確実な納得を積み上げてもらいます。この部分を苦手でちゃんとやり直したい人、さらりと終わらせてしまいここがどう重要か気になる人、これから学ぶ高校数学で苦労したくない中3生（新高1）どしどしお越しくください！お待ちしておりますよ！

【扱う分野】

数学Ⅰ 集合と命題 命題と論理 + α いろいろな論証や規則

【問題レベル】

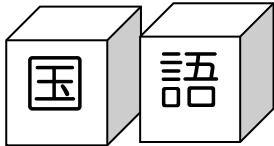
学校教科書における「基本問題～応用例題」

【備考】

学年は問いません。

受験勉強が本格化する前に勉強の仕方を学びたい現高2生（次年度高3）

すでに高校数学を学び始めている中高一貫の現中3生（次年度高1）もぜひ受講しにきてください。



■ スタンダード現代文（新高2・3生）

■ スタンダード古文（新高2・3生）

スタンダード現代文

小柴 大輔 先生

「入試現代文」のベースをつくる講座です。書き言葉としての現代文が本当に読めるようになる基本的な読解力と記述力を獲得するための授業をしていきます。ことばとことばの関係、文と文の関係、言い換えれば、論理を理解し、表現するためには一貫した方法にもとづく指導が絶対的に必要です。気がつけば、毎日数万語の日本語をしゃべっていても、書き言葉としての日本語は別モノですよ！現代文解法のプロフェッショナルが良質な入試問題を素材に指導致します。

現代文は共通テストでのみ必要という国公立大理系志願者も歓迎です。なお、「文章問題」と「知識モノ＝漢字・文学史・四字熟語+現代語（評論用語・慣用句）」の2本の柱で授業は構成されています。



スタンダード古文

朝倉 吏 先生

- 難関国公立・私立大学の現役合格を目指すための【基礎力 習得】を目的とした講座です。
- テキストは、難関私立大学の過去問が中心となります。まずは選択式の問題を通じて、古文の読み方・解き方を把握することが目標です。
- 難関大学であっても、共通テストであっても、解答を導くための方法論は【基礎力】以外のなにもありません。その【基礎力】とは、主に「単語・文法・構造把握」の3点です。これらを俯瞰することが、春期講習の最大のポイントです。